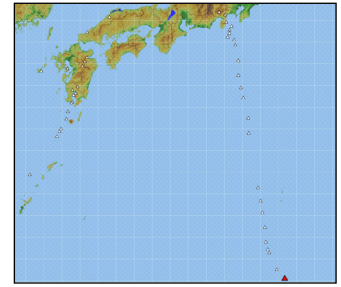


## 78. 日光海山 にっこうかいざん Nikko Seamount

北緯 23° 04' 42" 東経 142° 19' 32" 水深-392m



### 概要

東京の南約 1380km、硫黄島の南南東約 210km のマリアナ弧北端部に位置する海底火山である。基部の水深が 3000～3300m であり、海底からの比高は約 2900m の海山である。山頂部の水深 459m の地点に、熱水噴出孔深海生物群集が棲息する(橋本・他, 1992)。海面における観測では、1979 年 7 月に約 500m の扇状に広がる薄い緑色の変色水が確認されている。構成岩石の SiO<sub>2</sub> 量は 45.9～61.7 wt.% である。

### 地形図

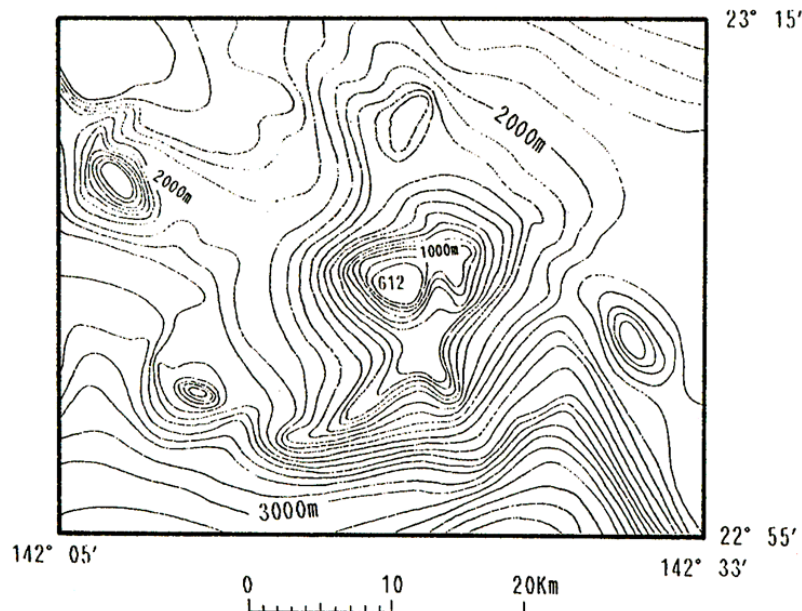


図 78-1 日光海山海底地形(霜鳥・他, 1995 より抜粋).

※緯度・経度は旧日本測地系の値である.

## 噴火活動史

### ・有史以降の火山活動

年代	現象	活動経過・被害状況等
1979(昭和54)年 <sup>1</sup>	(海水変色)	7月12日。約500mの扇状形の薄い緑色の変色水を視認。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。

#### 【引用文献】

1. 大谷康夫・土出昌一・芝田 厚・加藤 茂・岩渕義郎 (2004) 日本周辺海域火山通覧(第3版). 海洋情報部研究報告, **40**, 1-62.

## 関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
東京管区气象台総務部業務課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-2949

## 引用文献

橋本 惇・藤倉克則 (1992) 水曜海山. 木曜海山. 日光海山における熱水噴出孔生物群集. しんかいシンポジウム予稿集, **9**, 48-51.

海上保安庁水路部 (1979) 南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について. 火山噴火予知連絡会会報, **16**, 25-28.

Merle, S., Embley, R., Baker, E., and Chadwick, B. (2003) Submarine Ring of Fire 2003, Mariana Arc. R/V Thomas G. Thompson Cruise TN153. February 9-March 5, 2003. 32p. Online at [http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas\\_cruisereport.pdf](http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas_cruisereport.pdf). Accessed May 13, 2013.

霜鳥史郎・他 (1995) 「南硫黄島南方」の大陸棚調査速報. 水路部技報, **13**, 126-132.